

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

BPMCのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する急性毒性試験

試験番号

ET9801-4

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 203 「魚類急性毒性試験」 (1992年) に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： B P M C
- 2) 供試生物： ヒメダカ (*Oryzias latipes*)
- 3) 暴露方法： 半止水式 (48時間毎に換水)
- 4) 暴露期間： 96時間
- 5) 連数： 1濃度区に付き 1連
- 6) 生物数： 10尾/1濃度区
- 7) 試験液量： 4.0 L
- 8) 試験水温： $24 \pm 1^{\circ}\text{C}$
- 9) 照明： 室内光, 16時間明/8時間暗
- 10) 給餌： 無給餌
- 11) エアレーション： あり
- 12) 試験濃度： 対照区, 0.85, 1.53, 2.75, 4.96, 8.92, 16.06, 28.91および
52.04 mg/L
- 13) 試験液中の被験物質濃度の分析：HPLC法 (暴露開始時, 48時間)

結 果

- 1) 96時間の半数致死濃度 (LC50)

9.78 mg/L (95%信頼区間： 6.80~15.04 mg/L)

(上記濃度は、設定値に基づく値)